

しみの掲示板

市内で活動する団体の催しや
会員募集などを掲載しています。

問合せ 秘書広報課
Tel 870・0403 Fax 872・2291

● SNOひきこもりセミナー

日時 7月24日(金)午後1時～3時

場所 市民会館

問合せ 寺坂 Tel 090・3167・9473

● ひらめき☆ときめきサイエンス

変身立体や霧箱測定器を通じて宇宙の
根源と変化の謎に迫る!

日時 7月25日(土)午前9時30分～午後5
時 場所 大阪産業大学

申込 ホームページ

問合せ 深澤 Tel 875・3001



● 夏休み子ども演劇体験と発表会

ワークショップ、謎解き劇に出演

日時 ①7月25日(土)、26日(日)、8月2日(日)、
8日(土)午前9時30分②7月29日(水)午前
10時30分③発表会8月9日(日)午前9時～
午後5時

場所 ①いいもりぶらざ②来ぶらり南郷
③サーティホール

申込 申込フォーム

問合せ 小橋 Tel 878・3706



申込フォーム

● 高校生英語弁論大会

日時 9月19日(土)午後1時～5時

場所 市民会館キラリエホール 対象 大

東・四條畷・東大阪市在住・在学の高校生

申込・問合せ 8月4日までに東大阪大東畷

ライオンズクラブ Tel 813・2398

● ペン習字教室 泰山会

日時 毎週土曜日①午前9時～10時30

分②10時30分～正午 場所 アクロス

講師 日本ペン習字研究会師範

対象 ①小・中学生②高校生以上

費用 ①1回千円②1回1,500円

申込・問合せ 三島 Tel 080・9342・0519

● 大東社交ダンス陸会 会員募集

日時 毎週火曜日午後2時～3時30分

場所 総合福祉センター 対象 60歳以

上の市民 費用 入会金2千円、月3千円

申込・問合せ 米澤 Tel 872・7954

● ともしび句会

川柳を学び楽しむ

日時 毎月第2日曜日午前10時～正午

場所 いいもりぶらざ

申込・問合せ 小川 Tel 090・9371・8517

● 楽しい音楽エクササイズ

バレエの曲で正しい姿勢を学ぶ

日時 ①毎週木曜日午前10時、11時②毎

週土曜日午後6時10分 場所 ①まなび

南郷②サーティホール

費用 1回500円

問合せ 山田 Tel 080・6178・3114



金額の記載がないものは無料。申込の記載
がないものは申込不要。詳しくは各問い合わせ
先へご確認ください。

掲載記事を募集しています

原稿の締め切り日

9月号:7月15日

10月号:8月18日

詳細は

こちら



ダイトンをさがせ!

答え合わせと今月のプレゼント

正解者の中から抽選で

3人にプレゼントが当たります!

6月号の隠れ場所



木の幹に
隠れているよ



7月号のプレゼント



締め切り **7月25日まで**

※消印有効

野崎工業(株)提供

「N.umeピュール」

「塩分0%」の梅ピュールです。梅本来のおい
しさと自然の恵みを味わえます。

野崎工業(株)

野崎4-11-26

Tel 879・0011



はがきの場合は住所、氏名、年齢、ダイトンが隠れている場所、広報誌の感想や広報誌に
取り上げてほしいテーマなどを書いて〒574-8555 秘書広報課まで
※応募は1人1通。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



応募は
こちら!

事業者を
募集しています!

正解者プレゼントを提供いただける事業者を募集しています!

申込・問合せ 秘書広報課 Tel 870・0403

詳しくは
ホームページへ



人権のひろば

vol.315

「人権のひろば」に対する「意見」感想は
秘書広報課または、人権室までお寄せください。

「適応する」教育から「環境を変える」教育へ

皆さんはインクルーシブという言葉を知っていますか？

「全てを含む」「全ての人々を受け入れる」という意味で、障害の有無などにかかわらず、学び合えることをめざした教育をインクルーシブ教育といいます。

多様化する特別支援教育ニーズ

近年、特別支援教育へのニーズが高まっており、多様な特性に応じて学校の教育環境を整備することが求められています。車いすの利用を想定したスロープや多目的トイレ、手すりの設置に加え、にぎやかな場所が苦手な子のために教室を仕切るパーティションや落ち着けるソファを設置するなど、10年程前から環境整備が進められてきました。

市がめざすインクルーシブ

市でも、小・中学校の大規模老朽改修工事に合わせて、全ての児童生徒を受け入れる教育環境をめざし、支援学級を中心に整備を行っています。

現在工事中の小学校では、支援学級や図書室の一角にパーティションやカーテンなどで囲われた空間を造り、外部からの刺激を抑えた環境で学習や読書ができる小空間を確保しています。にぎやかな場所が苦手な子だけでなく、全ての児童生徒が一時的に心を落ち着かせるための場所として計画されています。

誰もが共に学べる場所へ

学校は、障害の有無にかかわらず共に学び、一人ひとりの能力を最大限に伸ばせる場所であってはならないと考えます。

皆さんも一度、身の回りにある「インクルーシブ」を探してみませんか。

	今までの教育	インクルーシブ教育
基本的な考え	障害の有無に応じて学ぶ場を分ける	障害の有無にかかわらず全員が同じ場で学ぶ
支援の対象	特定の障害がある子どもが中心	全ての子ども(個々のニーズに合わせて)
環境の変化	子ども側が既存の環境に適応することを求める	学校側が子どもに合わせて環境を変える
教員の役割	担任または支援学級の担当が個別に対応する	担任と専門スタッフがチームで連携する
めざすゴール	適切な環境での個別の能力向上	多様な人が共に生きる共生社会の実現



お知らせ

催し

スポーツ

募集

健康

子育て

掲示板